

第3章 「子育てについてのアンケート」結果から

(1) 調査のあらまし

【調査の目的】

この行動計画を策定するための基礎資料とするため、市民の子育ての実情や意見・要望などを把握することを目的として実施しました。

【主な調査内容】

この調査に用いた調査票(アンケート用紙)は、国が示した調査票の例(モデル調査票)をふまえ、本市の地域事情を勘案しながら、回答者が回答しやすいよう設問・選択肢を工夫、整理して作成しました。主な内容は次のとおりです。

保育園や幼稚園、放課後児童クラブの利用状況、要望
 上記事業を利用しない家庭の子育ての状況、希望
 保護者の就労状況、家族・親族による子育ての状況
 保護者の緊急の用事や病気の場合の対応
 子育てグループへの参加状況、子育ての心配や相談
 市の関連施策への要望

【調査期間】

平成 16 年 3 月 1 日に調査票を配付(郵送)し、平成 16 年 3 月 12 日を提出期限としました。

【調査の対象者・回収状況】

調査は、2種類のアンケートを実施しました。対象者と回収状況は次のとおりです。

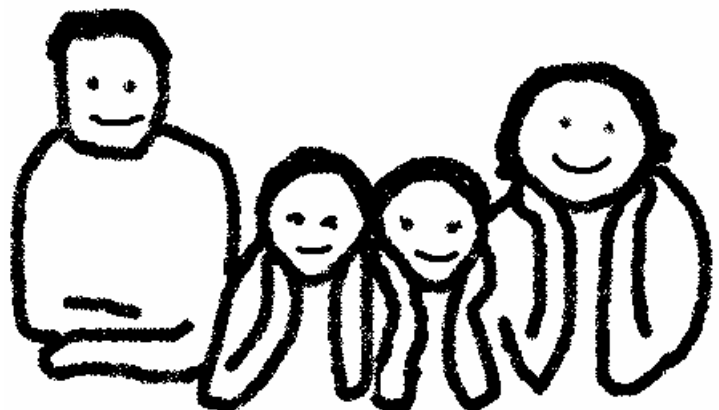
	就学前児童の保護者向けのアンケート	小学生児童の保護者向けのアンケート
対象者	平成 16 年 1 月 13 日において、市内に居住する就学前児童(永住権をもつ外国人を含む)から、年齢児ごとに層化したうえで、無作為抽出した児童 2,000 人の保護者を対象としたもの。	平成 16 年 1 月 13 日において、市内に居住する小学生児童(永住権をもつ外国人を含む)から、学年ごとに層化したうえで、無作為抽出した児童 2,000 人の保護者を対象としたもの。
有効対象者数	1,995 人(未達者 5 人)	1,997 人(未達者 3 人)
有効回答者数 (回収率)	985 人(49.4%)	849 人(42.5%)

(2) 調査結果のまとめ

就学前児童用と小学生児童用の2種類のアンケートには、同じ内容の設問がいくつかあります。それらを対比させる形で結果を下表のようにまとめました。

回答者のプロフィール

内容	就学前	小学生
回答者の続柄と年齢	回答者の 95.7%は母親であり、父親は 4.4%のみ 年齢は、30 歳代が 72.3%、次いで 20 歳代の 19.5%がつづく	回答者の 91.1%は母親であり、父親は 7.8%のみ 年齢は、30 歳代が 58.4%、次いで 40 歳代の 37.2%がつづく
子どもの年齢	各年齢層からそれぞれ 14.9% ~ 18.9%ずつの回答を得た	各学年からそれぞれ 15.0% ~ 19.5%ずつの回答を得た 低い学年ほど、若干回答数が多い
家族構成	核家族は、72.7% 三世代・四世代家族は、20.8%	核家族は、63.7% 三世代・四世代家族は、30.0%
園などへ預けているか	保育園・幼稚園等を利用しているのは、2 歳児まででは最高で 22.9% であるが、4 ~ 5 歳児になると 97.2%以上	



親族・地域社会での子育て

内容	就学前	小学生
祖父母からの手助け	祖父母に子どもを預かってもらうことがある人は、71.7% 手助けが特にならない人は、9.4%	祖父母に子どもを預かってもらうことがある人は、58.2% 手助けが特にならない人は、17.3%
近所づきあい	困ったときに助け合えるのは、16.0%。あいさつをする程度は、45.1% ほとんど付き合いがないとするのは、5.1%	困ったときに助け合えるのは、22.5%。あいさつをする程度は、41.3% ほとんど付き合いがないとするのは、2.8%
地区の子育てしやすさ	住んでいる地区が「大変子育てしやすい」、「まあまあ子育てしやすい」と感じているのは、合わせて67.1%	住んでいる地区が「大変子育てしやすい」、「まあまあ子育てしやすい」と感じているのは、合わせて74.3%
子育てしやすい理由	「子育てしやすい」と感じている人のうち、「自然環境がいい」ことを挙げている人は、46.2%、「公園や児童館など公共施設が近い」ことを挙げている人は、40.5%	「子育てしやすい」と感じている人のうち、「自然環境がいい」ことを挙げる人が、52.7%と最も多い
子育てしにくい理由	「子育てしにくい」と感じている人のうち、「公園や児童館など公共施設がない」ことを挙げている人は、58.2%、「自然環境がよくない」ことを挙げている人は、35.5%	「子育てしにくい」と感じている人のうち、「公園や児童館など公共施設がない」ことを挙げる人が、54.2%と最も多い
親同士のグループ	子育ての相談ができる「友人」がいる人は、70.2% 親同士のつきあいがいい人は、26.0%	子育ての相談ができる「友人」がいる人は、68.3% 親同士のつきあいがいい人は、28.2%
出かけるとき困ること	0歳児のいる家庭が困ることのうち、「ベビーカーが使いにくい」が39.9%、「子どもと休憩する場所がない」が、39.3% 5歳児のいる家庭は、「人気のない場所などでの犯罪の危険」、「道の事故の危険」を心配しており、それぞれ44.9%、43.7%	「人気のない場所などでの犯罪の危険」、「道の事故の危険」を心配している人は、それぞれ49.1%、44.6%

父母の就労と子育て意識

内容	就学前	小学生
育児に自信が もてないこと	育児に自信が持てないことがある 人は、42.1% 「何とも言えない」人は、37.8%	育児に自信が持てないことがある 人は、41.6% 「何とも言えない」人は、35.6%
虐待の意識	「虐待しているかも」と意識して いる人は、9.6% 「何とも言えない」人は、24.4%	「虐待しているかも」と意識して いる人は7.5% 「何とも言えない」人は、18.0%
子育ての悩み・ 問題	子育ての悩みがない人は、12.5% 悩みの内容としては、食生活・安全・健康・遊び方の順に多く、それぞれ 39.1%、36.6%、30.9%、27.3%	子育ての悩みがない人は、14.8% 悩みの内容としては、安全・健康・食生活・遊び方の順に多く、それぞれ 45.7%、29.6%、25.2%、25.2%
母親が仕事を するため 必要なこと	夫・勤め先・親族の「理解と協力」 が必要と回答した人は、それぞれ 82.1%、77.1%、56.0%	夫・勤め先・親族の「理解と協力」 が必要と回答した人は、それぞれ 77.5%、74.4%、45.04%
父親が仕事を するため 必要なこと	家族や勤め先の「理解と協力」が 必要と回答した人は、それぞれ 76.7%、66.4%	家族や勤め先の「理解と協力」が 必要と回答した人は、それぞれ 71.7%、56.8%



放課後と土曜日の状況

内容	就学前	小学生
平日放課後・土曜日昼間に過ごす場所		「自宅や友人宅」が最も多く、平日の放課後では 90.2%、土曜日では 90.0% 次いで多いのは、平日の放課後では「塾・習いごと」の 42.4%、土曜日では「公園など野外」の 26.1%
学童保育所の利用状況・利用希望		学童保育所利用者は、全体でみると 3.7% 現在は利用していないが、今後「利用したい」とする人は、4.1%

保育園・幼稚園等の利用と希望

内容	就学前	小学生
通園・託児先	全体でみると、市立保育園に 25.6%、私立保育園に 22.8%、市立幼稚園に 16.9%、私立幼稚園に 30.0%が預けている 年齢が高いほど均等になり、5 歳児ではそれぞれが 20.1%～30.2%	
保育や幼児教育の内容への評価	全体で見ると、満足なのは 87.9% 通園先別の満足度では、私立幼稚園が最も高く、市立保育園が最も低い	
延長の希望	市立幼稚園利用者のうち、今よりも遅い時間までの延長を希望している人は 77.1% 私立保育園利用者のうち、このままでよいと回答した人は 82.3%	
土・日・祝日の希望	市立保育園利用者のうち、日曜・祝日の利用を希望しているのは、それぞれ 23.6%、29.9%	

学童保育所への希望

内容	就学前	小学生
学童保育所への評価		「活動内容」や「指導員の質」に満足な人は、それぞれ 63.4%、66.7% 「施設」や「利用料」について、「やや不満」「大変不満」とするのは、それぞれ 46.7%、36.7%
延長の希望		今のままでよい(延長の必要なし)と回答した人は 60.0% もっと遅い時間までの延長を希望している人は、平日では 33.3%、土曜や夏休みでは 23.3%
日・祝日の希望		今のままでよい(日・祝の利用は必要なし)と回答した人は、70.0%

支援施策の利用と希望

内容	就学前	小学生
施設・会の利用	住まいの「近くの公園」や中央緑地公園のような「大きな公園」は、それぞれ 71.4%、70.7%が利用している	住まいの「近くの公園」や中央緑地公園のような「大きな公園」、「図書館」は、それぞれ 66.9%、60.1%、53.4%が利用している
施設・会への評価	住まいの「近くの公園」について「不満」がある人は、40.8%	住まいの「近くの公園」、「児童館」について「不満」がある人は、それぞれ 32.2%、28.4%
施設・会の不満点	「近くの公園」の不満な点は、「遠い」(近くにない)ことと「安全でない」ことで、それぞれ 25.1%、18.4% 中央緑地公園のような「大きな公園」と「子育て支援センター」については、「遠い」ことが不満で、それぞれ 81.0%、70.2%	「近くの公園」の不満な点は、「遠い」(近くにない)ことと「安全でない」ことで、いずれも 26.0% その他の施設について、「遠い」ことが不満な人は、68.4%~82.9%
子育て支援の知識	「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」については、92.0%、「保健センターでの教室や相談」については、79.2%が知っている	「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」については、79.6%、「保健センターでの教室や相談」については、71.7%が知っている

内容	就学前	小学生
子育て支援の利用経験	最も利用者が多いのは、「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」で66.5% 次いで多いのは、「保健センターでの教室や相談」と「子育て支援センターでのあそぼう会・相談」で、それぞれ24.0%、20.4%	最も利用者が多いのは、「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」で、44.5% 次いで多いのは、「保健センターでの教室や相談」と「家庭教育講演会」で、それぞれ19.3%、13.6%
子育て支援の希望	「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」を利用したい人は、62.6% 「子育て支援センター」、「病児保育室」、「保健センター」も40.8%～48.4%の利用希望がある	最も利用希望が多いのは、「家庭教育講演会」の33.1%
本市の子育て支援への要望	要望が多いのは、医療費・保育料・税金等の軽減や、公園などの整備で、36.1%～48.4%	要望が多いのは、医療費・税金等の軽減や、公園などの整備で、38.9%～42.3%
子育て支援施策のあり方	「利用者負担が増えてもよいので、子育て支援の施策を増やしてほしい」という回答は、通園・託児先の別では、差が見られるものの、全体で見ると、37.7%	「利用者負担が増えてもよいので、子育て支援の施策を増やしてほしい」という回答は、39.6%



(3) 旧楠町の調査結果のまとめ

旧楠町においても、次世代育成支援対策を推進するための基礎資料を得るため、住民の子育てに関する生活実態や要望・意見等を把握することを目的とした『楠町次世代育成支援行動計画策定にかかる調査（子育てについてのアンケート）』を実施しました。対象者や調査結果について、以下にまとめました。

【調査のあらまし】

	就学前児童の保護者向けのアンケート	小学生児童の保護者向けのアンケート
対象者	平成 16 年 1 月 1 日において、楠町内に居住する就学前児童全員（813 人）の保護者。但し、同一世帯で 2 人以上の就学前児童があるときは、年少児（208 人）を除外した。	平成 16 年 1 月 1 日において、楠町内に居住する小学生児童全員（672 人）の保護者。但し、同一世帯で 2 人以上の小学生児童があるときは、年長児（169 人）を除外した。
有効対象者数	605 人	503 人
有効回答者数（回収率）	292 人（48.3%）	339 人（67.4%）
調査方法・調査期間	町立保育園・幼稚園の通園者及び小学生は手渡しにより配付、その他は郵送により配付した。回収は町健康福祉課宛の郵送。平成 16 年 2 月 14 日に調査票を配付し、同 3 月 8 日を提出期限とした。	

【調査結果のまとめ】

内容	就学前	小学生
回答者のプロフィール	<p>核家族は、72.7%</p> <p>ひとり親家庭は、7.7%</p> <p>保育園・幼稚園等を利用しているのは、1 歳児では 24.4%、2 歳児では 31.8%であるが、4～5 歳児では 98.1%以上</p>	<p>核家族は、57.9%</p> <p>ひとり親家庭は、9.7%</p> <p>平日の放課後と土曜の昼間は、自宅・友人宅で過ごすことが多く、それぞれ 79.6%～90.6%</p> <p>平日の放課後に児童をみているのは家族が多いが、高学年になると子どもだけで過ごす子も 10.2%いる</p> <p>学童保育所の利用は低学年で 2.8%だが、条件が合えば今後利用したいとする保護者も 25.4%いる</p>

内容	就学前	小学生
親族関係のなかでの子育て	<p>祖父母に子どもを預かってもらうことがある人は、76.9%</p> <p>手助けが特にない人は、8.6%</p> <p>子どもの面倒をみられないことがあった保護者は、41.2%であり、その際に、祖父母などがみたのは、76.6%</p>	<p>祖父母に子どもを預かってもらうことがある人は、67.7%</p> <p>手助けが特にない人は、14.2%</p> <p>子どもの面倒をみられないことがあった保護者は、28.0%であり、その際に、祖父母などがみたのは、65.0%</p>
地域社会での子育て	<p>地区での近所づきあいは、あいさつ程度が41.7%、ほとんど付き合いがないのは、6.3%</p> <p>住んでいる地区が「大変子育てしやすい」、「まあまあ子育てしやすい」と感じているのは、合わせて79.7%で、公園・児童館など公共施設は、子育てしやすさ感を分ける指標のひとつと考えられる</p> <p>子育ての相談ができる「友人」がいる人は、65.3%</p> <p>親同士の付き合いがない人は、27.2%</p> <p>子どもと出かけるときに自家用車を使用するのは、93.1%</p> <p>子どもとの外出時に困ることで最も多いのは、用事の時に子どもを遊ばせる場所がないことで、全体の38.5%</p>	<p>地区での近所づきあいは、あいさつ程度が37.4%、ほとんど付き合いがないのは、3.1%</p> <p>住んでいる地区が「大変子育てしやすい」、「まあまあ子育てしやすい」と感じているのは、合わせて83.0%</p> <p>住んでいる地区が子育てしにくいと感じている人のうち、その理由として「近所づきあいが悪い」とするのは、31.3%</p> <p>子どもとの外出や、子どもが外で過ごす時に困るのは、「犯罪の危険」や「事故の危険」が多く35.2%～50.5%</p>
父母の就労と子育て意識	<p>育児に自信を持ってないことがある人は37.6%</p> <p>母親が子育てをしながら仕事をするためには、夫・勤め先の「理解と協力」が必要と回答した人が多く、それぞれ85.4%、74.0%、次いで、保育施設の充実が59.1%</p> <p>父親の仕事で最も多いのは、会社員の74.1%で、働く父親のうち、子どもの世話のために仕事を休みにくいのは、52.4%</p>	<p>育児に自信を持ってないことがある人は37.2%</p> <p>母親が子育てをしながら仕事をするためには、夫・勤め先の「理解と協力」が必要と回答した人が多く、それぞれ76.2%、69.4%</p> <p>父親の仕事で最も多いのは、会社員の69.1%で、働く父親のうち、子どもの世話のために仕事を休みにくいのは、58.8%</p>

内容	就学前	小学生
<p>保育園・幼稚園等の利用と希望</p>	<p>預けている時間は、保育園は朝 8 時前後から夕方、幼稚園は朝 8 時半前後から 14 時台まで</p> <p>通園先を選んだ理由で最も多いのは「近いから」の 77.0%</p> <p>施設や内容、安全の配慮、食事やおやつなどに満足なのは、76.3% 以上</p> <p>保育園の利用希望時間帯は朝 7 時から夜 21 時台まで、幼稚園でも朝 7 時から夕方 18 時台まで</p> <p>園への要望の記述内容は、幼稚園の 3 年保育、一時保育、給食の実施など</p> <p>児童が園を休んだことがあるのは 91.9% で、その時面倒をみたのは、母親が 88.2%、祖父母が 33.1%</p>	
<p>学童保育所への希望</p>		<p>活動内容や指導員の質に満足しているのは、それぞれ 60.0%、80.0%</p> <p>土曜や夏休みの早い時間からの利用を希望するのは、66.7%</p>
<p>子育て支援施策の利用と希望</p>	<p>利用経験の多い施設は、楠中央緑地公園の 85.4% で、ゆりかもめ、図書室は、それぞれ 58.8%、48.5%</p> <p>町の子育て支援事業のうち、知られている割合が多いのは、「保健センターの母親学級等」「赤ちゃん相談」「保健センター開放日」で、いずれも 92.4%</p> <p>要望が多いのは、医療費・保育料・税金等の軽減や、公園などの整備で、63.2%～77.1%</p>	<p>利用経験の多い施設は、楠中央緑地公園の 87.0% で、次いで、図書室の 67.3%</p> <p>町の子育て支援事業のうち、知られている割合が多いのは、「公民館のよみきかせ教室」「保健センターの母親学級等」「赤ちゃん相談」で、それぞれ 87.6%、86.2%、84.0%</p> <p>要望が多いのは、公園などの整備、医療費・税金等の軽減で、58.0%～69.1%</p>

